

## 光、風、視線をコントロール

光や風、視線を程よく遮りつつ取り入れられる花ブロック。光と影が織り成すデザインの美しさも魅力だ。

この人に聞きました

伊良波朝義さん

(有)義空間設計工房 一級建築士事務所 代表取締役。一級建築士



花ブロックを廊下部分に取り入れた集合住宅。夜は照明がもれて立体的な眺めに



花ブロックは通りからの日差しを遮り、廊下に影を生む



外壁に用いると、程よく視線が遮られるが圧迫感はない

Q 花ブロックの魅力は？

A 陰影をデザイン。

光や風、視線をコントロールできる花ブロック。使い次第でクーラーの使用量を抑えることができ、耐久性も高いエコな素材です。光による陰影をデザインできるのも魅力。昼と夜では、ガラリと表情が変わります。

実家の和室の窓の外一面に花ブロックが使われていたのですが、ずっと開けることができ、風通しが良くクーラー要らず。家中で一番気持ちの良い場所でした。その経験もあり、建物に花ブロックを取り入れることが多いですね。

お勧めは、洗濯物干し場に使うこと。防犯性を高めながら光や風を呼ぶことができ、使い勝手がいいです。西側に洗濯物干し場を設けると、室内への西日の侵入を防ぐこともできます。

ほかには、塀として使うことも。適度に視線が抜けるので壁にするよりも圧迫感を感じず風通しも良くなります。植栽を合わせると、より眺めも良くなります。

Q 使う時の注意点は？

A カラフルな塗装避けて。

注意した方がいいのは、年数がたつとブロックの表面に白いエフロレンス(白華)が出てくること。強度に問題は無いのですが、カラフルな色で塗装すると目立つので、白系の塗装がいいでしょう。

取り入れる際は、面で使うと効果的です。個々で見るのと面にした時とではイメージが変わるので、デザインを選ぶ際は面で使うことを意識してみてください。また、穴の大きさでも機能性が変わります。大きいと光や風がたくさん入り、小さいと目隠しの要素が強くなる。ブロックの裏と表で穴の大きさが異なるものもあり、用途とデザインを考慮して選ぶといいと思います。



### 干し場にオススメ！

「風を通す花ブロックは洗濯物干し場に向いている」と伊良波さん。穴の小さなブロックを使うことで、視線を遮り雨が入ってくるのを防いでいる。